



Business Report

2019年3月期 株主通信
2018年4月1日▶2019年3月31日

トップメッセージ

2019年3月期業績について

特集

頭皮のニオイにも効く薬用デオドラントが、
男性用、女性用同時に新発売



To Our Shareholders

株主の皆さまへ

2019年3月期業績について

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当期は、前期比較で減収となっておりますが、これは当期より国際財務報告基準に準拠した財務諸表で連結している在外連結子会社において、従来費用処理していた一部の項目を売上高から控除する表示法に変更した影響であり、前期を同様の基準に算定した場合は0.2%と僅かに増収となります。各段階利益は減益という結果になりました。

売上高につきましては、日本では男性ブランドの「ギャツビー」が夏シーズン品の好調もあり堅調に推移し、ミドル男性向けブランドである「ルシード」も順調に実績を拡大したものの、女性ブランドの「バリアリペア」が第2四半期以降、越境EC需要が急減速したことを受けて大きく売上を落としたことにより、微増収にとどまりました。インドネシアにおきましては、市場の競争環境激化により、近年実績を牽引してきた「ギャツビー」の「スタイリングボマード」が伸び悩み、減収となりました。一方、海外その他は、多くの国において「ギャツビー」のスタイリング剤と、「ピフェスタ」が好調に推移しました。

利益面では、インドネシアにおける減収影響と、第12次中期経営計画(MP-12)の企業基盤整備に伴う費用増加によって減益となっております。

第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況について

第12次中期経営計画(MP-12)は、「[VISION 2027]実現のための企業基盤整備期」として位置付け、「カテゴリ戦略の推進とブランド価値向上の徹底」、「インドネシアを中核にした海外事業の成長性向上」、「グループオペレーション体制の構築と単位あたり生産性の向上」を基本方針として、来るべき人口ボーナス期にアジアの成長と共に当社グループも飛躍的に成長するための経営のグローバル化への取組みを着実に実践しています。

具体的にその中のいくつかをお話しますと、まずは中核ブランドである「ギャツビー」は真のグローバルブランドを目指して、ブランドの再定義「リブランディング」に取り組んでおります。ブランドの世界観の刷新とともに、各国のマーケティング担当者を日本に集め、参画者全員が「ギャツビー」の中長期の「ありたい姿」やブランド価値について語るディスカッション、各国でのマーケティング・サクセスの共有を行うなど、ボーダーレス化しつつある「アジアのヤング男性」に対して、グループとしてブランド価値向上と生活者からの支持を高めるための取組みを行っております。

グループ基盤の整備としては、グループにおいて全体最適観点での意思決定を可能とするための共通の会計システムを順次導入中です。日本、タイに続いて、今年からはインドネシアでも本格稼働しております。また、「人間系」企業にふさわしいビジネス環境づくりと働き方改革を目的として、日本の東京日本橋オフィスとインドネシアのヘッドオフィスをそれぞれ移転しております。

本年度も引き続き「VISION2027」の「ありたい姿」実現に向けて、足元の課題を着実に解決し、必要な環境整備をやり抜くことで企業基盤整備を進めつつ、再び売上高・利益拡大の再加速を図って行きたいと考えております。

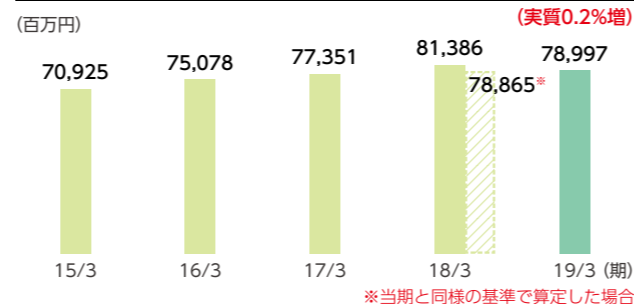
株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしく御願申し上げます。

M. Nishimura
代表取締役 社長執行役員
にしむら もとのぶ
西村 元延

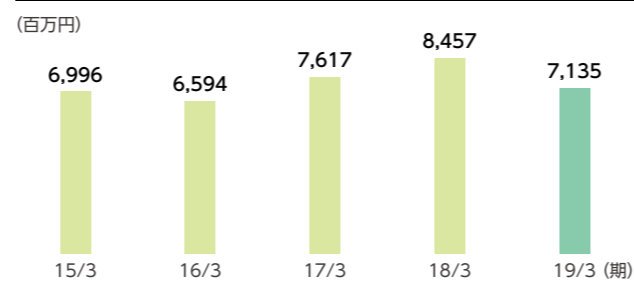
Financial Highlights

2019年3月期決算ハイライト

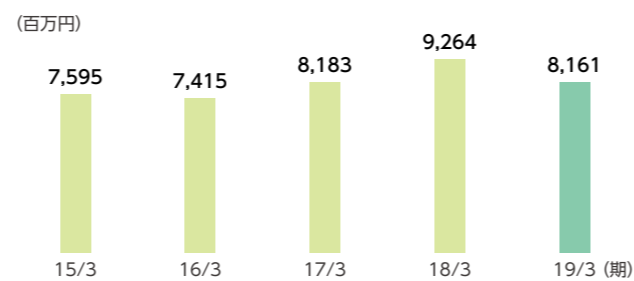
売上高 **789億97百万円** 前期比 **2.9%減** (実質0.2%増)



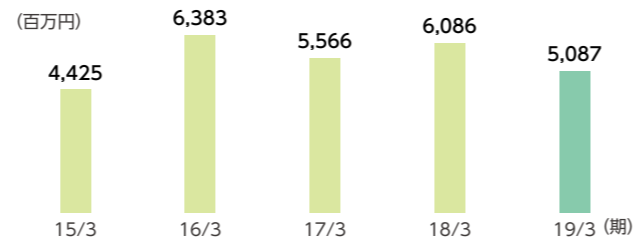
営業利益 **71億35百万円** 前期比 **15.6%減**



経常利益 **81億61百万円** 前期比 **11.9%減**



親会社株主に帰属する当期純利益 **50億87百万円** 前期比 **16.4%減**



連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	前期末 (2018年3月31日)	当期末 (2019年3月31日)
流動資産	58,360	52,926
固定資産	34,241	40,475
資産合計	92,602	93,402
流動負債	11,749	11,784
固定負債	5,103	5,808
負債合計	16,853	17,592
純資産合計	75,749	75,810
負債純資産合計	92,602	93,402

*当連結会計年度の期首から「税効果会計に係る会計基準」の一部改正等を適用しているため、2018年3月期株主通信の金額と異なっています。

Point

資産(7億99百万円増加)
主に固定資産ののれん、顧客関係資産が増加したことにより7億99百万円の増加となりました。

負債(7億38百万円増加)
主に固定負債の繰延税金負債が増加したことにより7億38百万円の増加となりました。

純資産(60百万円増加)
利益剰余金が増加したことにより60百万円の増加となりました。

注)当連結会計年度より、国際財務報告基準に準拠した財務諸表で連結している在外連結子会社において、従来費用処理していた一部の項目を売上高から控除しております。以下の前期比につきましては、2018年3月期通期実績を同様の基準で算定した場合の比較値を掲載しております。(該当箇所には*をつけております)

所在地別売上高・営業利益の概況

日本

●売上高 **484億42百万円** 前期比 **1.5%増**
●営業利益 **42億48百万円** 前期比 **23.1%減**

売上高は、「バリアリペア」が減収となったものの、「ギャツビー」が堅調に推移し増収となりました。営業利益は、主として一般管理費の増加により減益となりました。

インドネシア

●売上高 **170億44百万円** 前期比 **10.8%減**
●営業利益 **6億81百万円** 前期比 **42.3%減**

売上高は、インドネシア国内において売上が減少したことにより減収となりました。営業利益は、主として減収の影響で減益となりました。

海外その他

●売上高 **135億10百万円** 前期比 **12.4%増**
●営業利益 **22億5百万円** 前期比 **26.0%増**

売上高は、一部の国を除いて概ね好調に推移し増収となりました。営業利益は、主として増収効果により増益となりました。

事業別売上高の概況

男性事業

主なブランド: ギャツビー、ルシード

495億80百万円 前期比 **0.1%増**
国内で「ギャツビー」と「ルシード」が堅調に推移しました。インドネシアで「ギャツビー」が減収となりました。

女性事業

主なブランド: ピフェスタ、ピクシー、ルシードエル、ピュセル

224億33百万円 前期比 **0.5%増**
国内で「バリアリペア」が減収となりました。「ピフェスタ」が国内外ともに好調に推移しました。

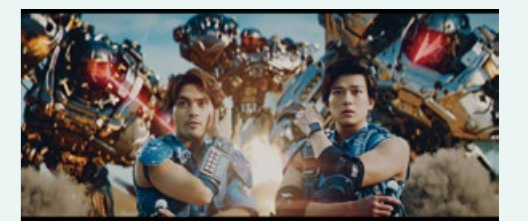
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

Topics

トピックス

ギャツビーの新CM「GATSBY COP」新たな展開へ

ワイルドな先輩刑事役の柳楽 優弥さんと、クールな新米刑事役の新田 真剣佑さんが「パディ」となって、ダブル主演し、自分たちの「有能さ」をアピールする「GATSBY COP」。テーマソングにはいまヤング層中心に絶大な支持を得ている米津玄師さんの「TEENAGE RIOT」を起用。今回は、ギャツビーデオドラントシリーズの新製品を手に、クールなポーズを決めながら、悪の巨大ロボットの暴走を食い止める(?)シーンが、レトロフューチャーな世界観とともに描かれています。TVCMだけでなく、ブランドサイトの「GATSBY COP」特設サイトでもこの独自の世界観をお楽しみいただけます。
<https://www.gatsby.jp/gatsbycop/>



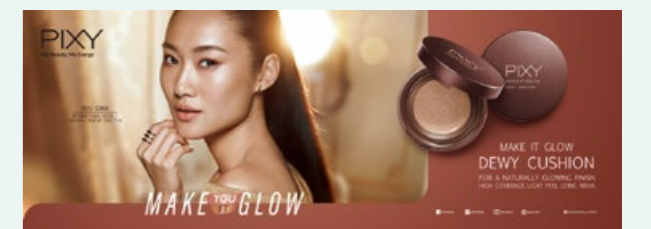
ギャツビーのデオドラントシリーズが新しく生まれ変わりました

いつの時代もヤング男性に寄り添ってきた「ギャツビー」。このたび、彼らのデオドラントに対する意識の変化と、彼ら特有の「汗・ニオイ」の徹底研究を経て、新しく生まれ変わりました。シリーズの共通技術として、出てきた汗も「キレイな汗」*に保つ「クリーンフィルター処方」を採用。「パナソニック社」と共同開発した人間工学に基づいた握りやすい容器を採用した製品や、当社独自の白色活性炭(吸着剤)配合の製品をラインアップした、一層「有能な」デオドラントシリーズとなつての登場です。
*殺菌作用によりニオイが抑えられた汗



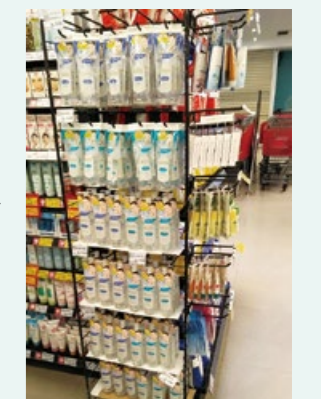
ピクシーの新ライン「MAKE IT GLOW」シリーズ 順調な発進

インドネシアを中心に展開しているトータルコスメティックブランド「PIXY(ピクシー)」。主力商品である「ツウウェイケーキ」(ファンデーション)をはじめとした従来の製品群に加えて、2018年からは、よりヤング女性のメイクアップトレンドを取り入れた新ライン「MAKE IT GLOW」ラインを提案しました。「DEWY CUSHION」(クッション ファンデーション)をはじめとして高い評価をいただいている製品も出てきており、今後の展開に期待がかかります。



ついにインドネシアでもピフェスタ クレンジング販売スタート

前期(2018年度)より、「ギャツビー」とならび、グローバルブランドに位置づけられた「ピフェスタ」。「日本発の高品質な洗顔&クレンジングブランド」として、タイ、シンガポール、中国などアジア各国で生活者の方々からご好評いただき各市場で支持を獲得しておりますが、ついに当社海外展開の中で最大の売上規模となるインドネシアでも2018年8月に販売がスタートしました。今後の動向に注目です。



ACG INTERNATIONAL社がマンダムグループに仲間入り

マレーシアを中心にヤング女性向けメイクアップブランド「SILKY GIRL」などを展開するACG INTERNATIONAL社の株式100%を2019年1月に取得しました。これは当社創業以来初めての企業買収となります。当社は現在、創業100周年となる2027年のありたい姿「VISION2027」の実現を目指し邁進中です。具体的には、基本方針である「アジアの成長を取り込んだ真のグローバルカンパニーへの進化」、「男性事業のお役立ちの更なる深化と、女性事業における積極的投資および拡大」に則り事業展開を進めています。今回の買収はまさに「VISION2027」の方針と合致しており、今後、東南アジアにおける当社グループの存在感を一層高めていけるものと考えています。



Special Contents **特集**



LUCIDO

ルシード 薬用頭皮とカラダのデオドラントジェットスプレー (販売名:薬用SCデオドラントスプレー)

MOWATORE

マンダム モワトレ薬用デオドラントショット (販売名:B&SデオドラントスプレーN、S)

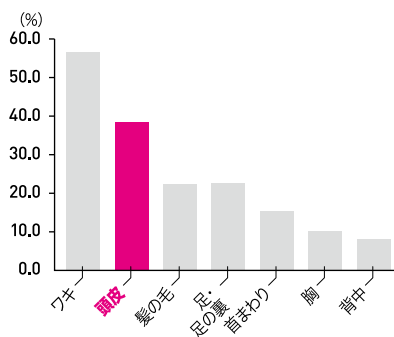
男性、女性ともに気になっていた頭皮のニオイ

20~40代の女性に汗・ニオイに関する悩みをヒアリングしたところ、30代になると加齢に伴う「脂っぽいニオイ」というものを認識するようになり、気になる部位として特に「頭皮」のニオイが挙がってきます。

一方、男性においても加齢に伴う40代特有の体臭「ミドル脂臭」の主な発生部位である頭皮のニオイを気にしているミドル男性が多い一方で、日中にケアできる商品はないために、シャンプーでの対処にとどまっているということがわかりました。

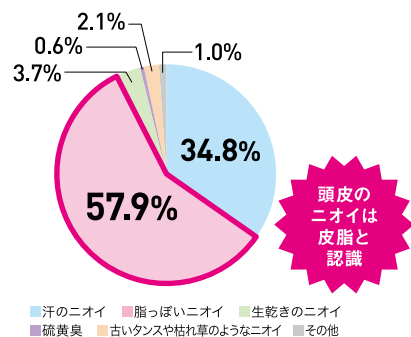
ニオイが気になる部位は？

2018年3月 20~60代女性 (n=10,000) NET調査 ※マンダム調べ
気になる、やや気になるを合算した数値



頭皮はどんなニオイ？

2018年3月 20~49歳女性 (n=630) NET調査
※マンダム調べ



頭皮のニオイにも効く薬用デオドラントが、男性用、女性用同時に新発売

長年の研究の末、ついに頭皮にも使える薬用デオドラントを開発。

今まで、ニオイ防止アイテムである“デオドラント”製品は、体臭の防止を目的とするものとして定義づけられており、カラダに使用することを前提としたカテゴリとなっていました。当社が長年にわたり体臭研究を進める中で、リゾチーム塩酸塩、イソプロピルメチルフェノール、パラフェノールスルホン酸亜鉛の組み合わせが、皮脂の多い頭皮においても汗臭予防に効果が発揮される(または汗臭予防効果に有効である)ことを見出しました。そして、厚生労働省から同技術の有効性が認められ、日本で初めて3成分の組み合わせにより「頭皮汗臭を防ぐ」の効能効果の承認を取得しました。

皮脂臭ブロック技術

汗に強い IPMP※1 × 皮脂に強い 塩化リゾチーム※2

+パラフェノールスルホン酸亜鉛配合 (制汗成分)

※1 イソプロピルメチルフェノール ※2 リゾチーム塩酸塩

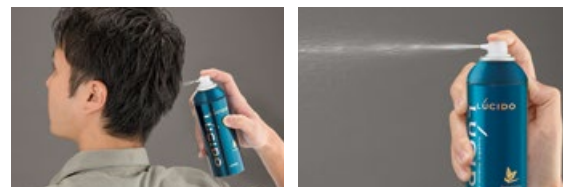
▶ 汗、皮脂の多い頭皮においてもしっかりとニオイを予防

頭皮にも使えるデオドラントは、男性に対しても、女性に対しても“日中の頭のニオイへの不安、不満”に対処するという従来にはなかった新しいケア習慣や、より快適な日々の生活を提案し、生活者への新たなお役立ちが可能と考えています。

マンダムは今後も生活者の不満や潜在ウォンツを敏感にきみ取り、楽しく快適な生活提案を心がけていきたいと考えております。

〈こんなときにシュッとひとふき〉

- 朝のスタイリング前に
- 仕事、勉強の合間に
- 人と会う前に
- リフレッシュしたいときに



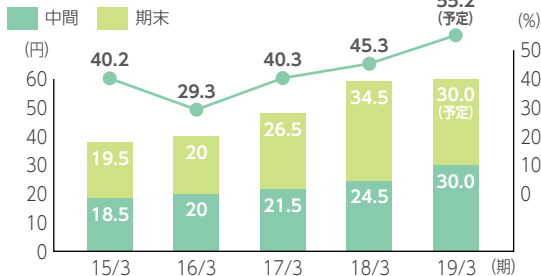
株主還元の基本方針

配当に関して

特別な要素を除いた連結ベースでの配当性向40%以上の継続

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要政策として位置付け、中長期的な事業拡大、新規事業開拓および企業リスクのための内部留保に配慮しつつ、配当金による株主還元を優先的に実施することを基本方針としております。配当金に関する数値目標としましては、特別な要素を除いた連結ベースでの「配当性向40%以上」としてしております。

配当金と配当性向の推移



※当社は2017年10月1日を効力発生日として、1:2の株式分割を実施しており、上記グラフの数値はすべて株式分割の影響を考慮した数値となっております

株主優待について

5,000円相当の当社商品詰め合わせをお届け

当社は、株主の皆さまに対する利益還元の一環として、株主優待を行っております。100株以上の株式をご所有(3月31日現在)の皆さまに5,000円相当の当社商品詰め合わせを、6月初旬にお届けしております。当社をより身近に感じていただくために、優待品は当社のお奨めする商品を選定しております。

■2019年実施株主優待詰め合わせ



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日

〔そのほか、必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日〕

単元株式数 100株
 株主名簿管理人 および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎0120-782-031

※詳細は、当社サイトをご確認ください
 URL <https://www.mandom.co.jp/ir/src/stockinfo.html>

会社概要

[2019年3月31日現在]

社名 株式会社マンダム
 本社 大阪市中央区十二軒町5番12号
 設立 1927年12月23日
 資本金 11,394,817,459円
 従業員 586名 (連結2,731名)
 事業内容 化粧品、香水の製造および販売、医薬部外品の製造および販売

お知らせ

資本効率の向上および株主さまへの還元強化のため、当社は2019年5月14日開催の取締役会において、以下の通り自己株式取得に係る事項を決議いたしました。取得し得る株式の総数:2百万株(上限) [自己株式を除く発行済株式総数に占める割合4.3%] 株式の取得価格の総額:5,000百万円(上限) 詳しくは5月14日開示の「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご覧ください。

株式会社マンダム IR室

〒540-8530 大阪市中央区十二軒町5番12号
 TEL:06-6767-5020 FAX:06-6767-5044
 株式会社マンダムはISO14001(福岡工場)を認証取得しています。

IRメール配信サービス

当社のIR・会社情報をタイムリーにお知らせしています。
 (会員登録はこちらから)

マンダム IR 情報

